Safety Precautions

UV INKJET PRINTER

UJF200-3042
UJF200-6042

安全上の注意

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203976-11
Original instructions

目次

はじめに 3
安全にお使いいただくために 4
　シンボルマーク表示について 4
　使用上の警告と注意 5
　使用上の制限について 9
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項 10
　インク消費有効期限に対する本機の制限について 11
設置上のご注意 12
　設置スペース 13
　本機を移設したいとき 14
安全インターロックについて 15
非常停止スイッチについて 16
警告ラベル 17

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター　UJF200-3042/6042をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、安全上のご注意（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UJF200-3042/6042（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

	内　容	
⚠警 告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注 記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告



- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
  （大阪） 072-727-2499 24時間対応
  （つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記



- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

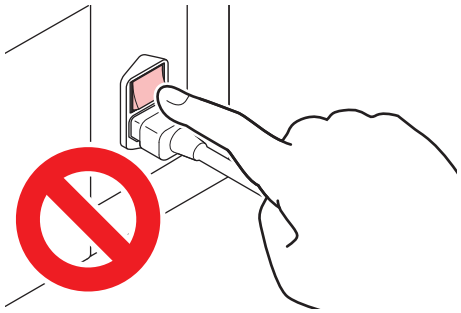
⚠ 警 告

- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 本機に乗らないでください

注 記

- テーブルの上には絶対に乗らないでください。テーブル盤面の精度が狂って、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注 意



- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警 告



- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

⚠ 警 告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。

(1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- 急性障害：炎症など
- 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど

(2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
- 慢性障害：翼状片、白内障など

⚠ 注 意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

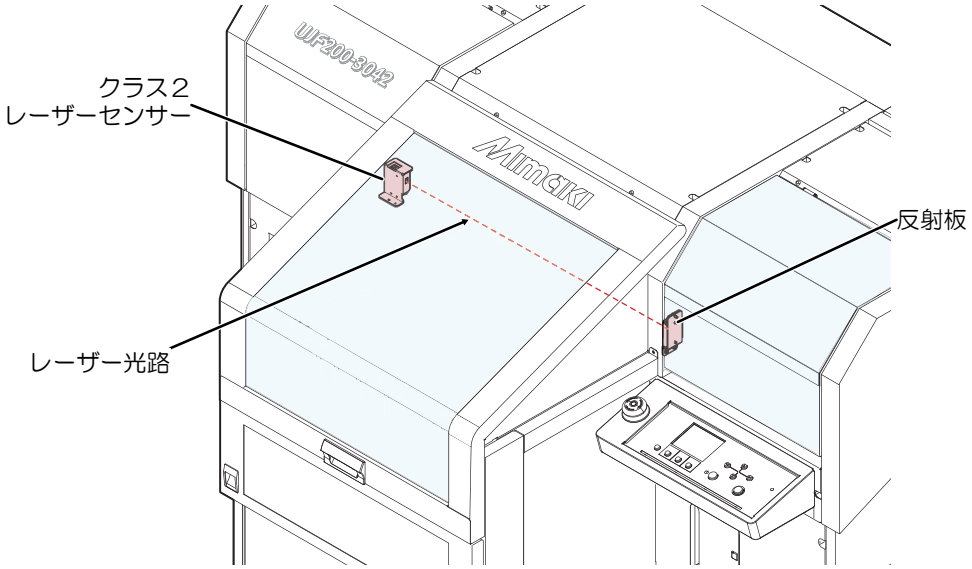
注 記

- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● レーザーについて

⚠ 警 告

- 本機はクラス1レーザー機器となりますが、レーザーセンサー自体はクラス2レーザーが使用されています。絶対にレーザー光を直接のぞき込まないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。



● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 本機に子供を近づけないでください。

注 記

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

使用上の制限について

使用上の制限

⚠ 警 告

- 本機はキャリッジが左右に高速移動したり、テーブルが動いたり、高温部や危険な電圧部、またUV-LEDを搭載していて非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した方に限られます。

使用者の制限

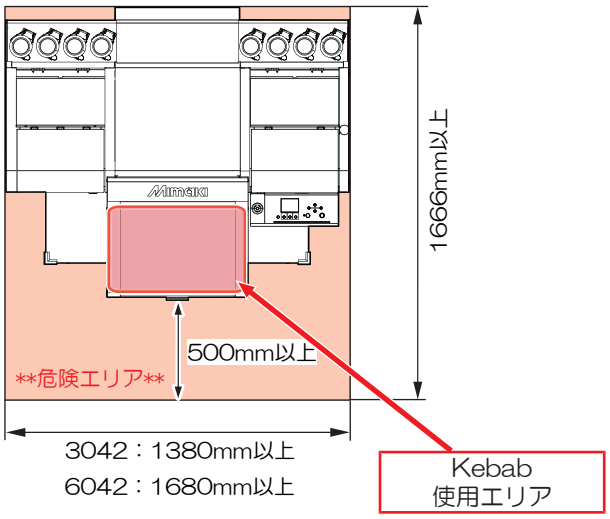
⚠ 警 告

- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

エリア制限

⚠ 警 告

- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、隔離エリアへの立ち入りを禁止してください。



- プリンタ本体のUV-LEDはIEC62471に従ったRisk Group2に分類されます。
製品に表示されている警告ラベルおよび本書の安全上の指示に従って使用してください。

- オプションのKebabHSシステムはIEC62471に従ったRisk Group3に分類されます。KebabHS使用時に装置内部にアクセスする際は、UV遮光メガネと保護手袋を必ず装着してください。

- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
  (1) 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
  (2) 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。https://japan.mimaki.com/supply/sds/

⚠ 注 意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。

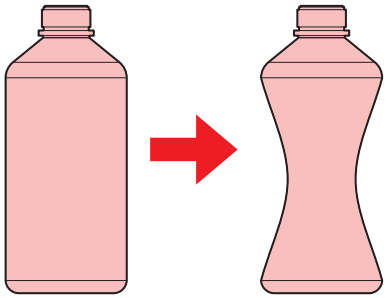
  (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。

  (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。

  (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。

- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要！

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警 告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注 意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。

  (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。

  (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注 記



- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満する場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

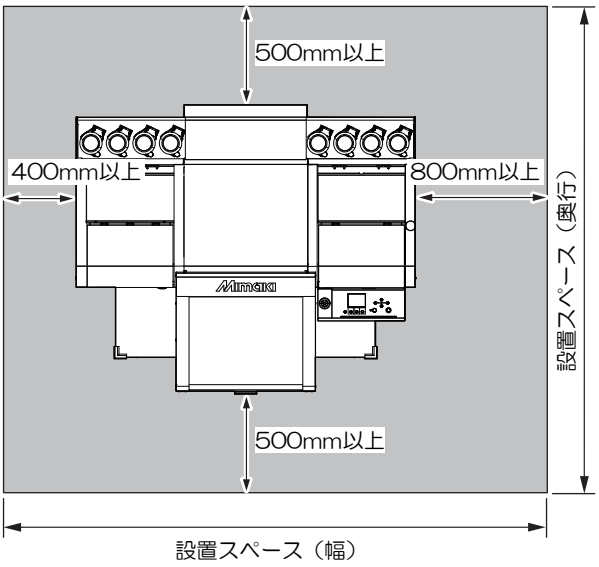
設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。

項目	UJF200-3042	UJF200-6042
幅*1	2,580 mm以上（1,380 mm）	2,880 mm以上（1,680 mm）
奥行き*1	2,166 mm以上（1,166 mm）	
高さ*1 （積色表示灯を含む）	1,524 m*2以上（1,186 mm）	
重量*1	259 kg*2（171kg）	275 kg*2（187kg）

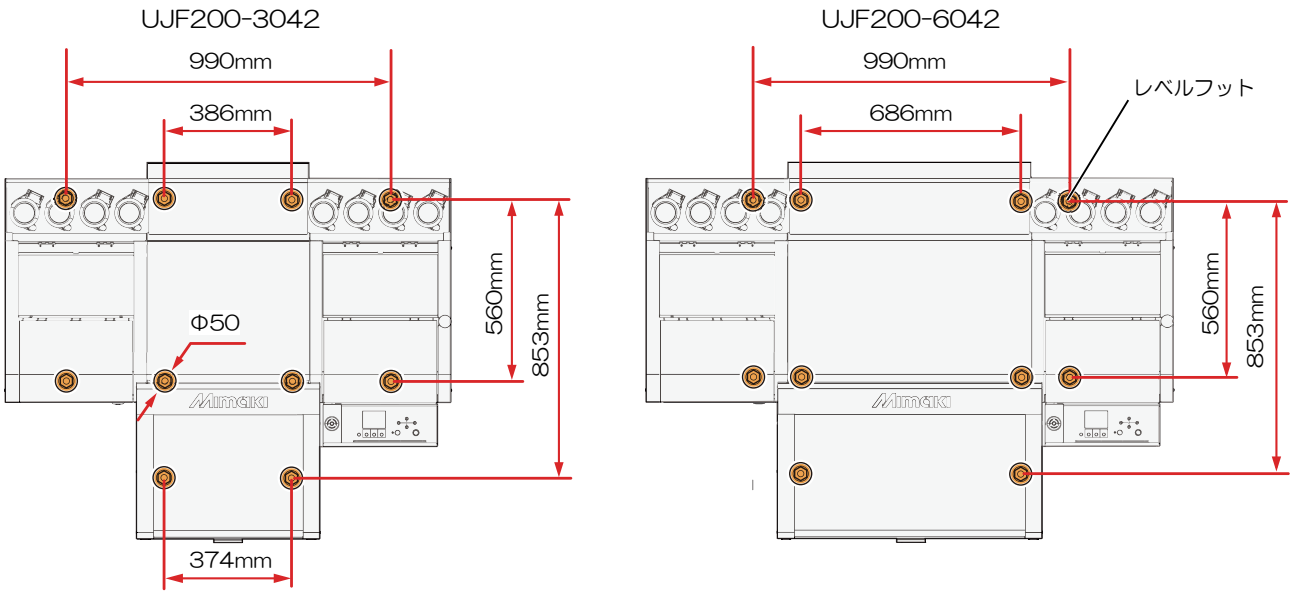
*1. （）内は、本機のサイズ

*2. 専用台を含む



- 純正オプション「A107806 / OPT-01034 設置専用台」を使用せず、独自の設置台を使用する場合は、以下の仕様を満すものを用意してください。
  (1) 耐荷重：414kg以上（均等荷重）
  (2) 平面度：次ページの図に示すアジャスターフット位置にそれぞれ 41.4kg の集中荷重がかかった時に、台天面の局所たわみが 0.3mm 以下にしてください。

● 本機レベルフットの位置



本機を移設したいとき

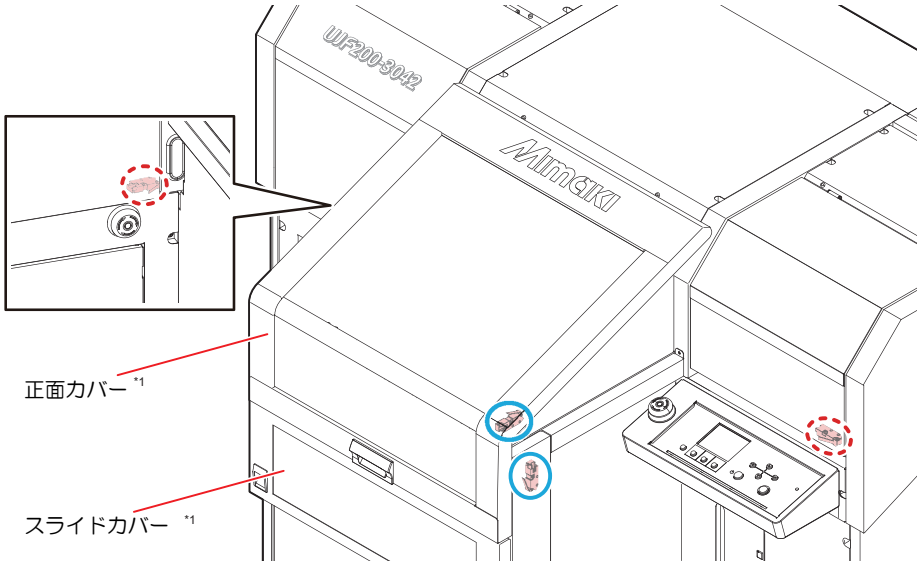
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)

プリント中にカバーを開けるとプリントが中断されるので、再度RIPデータの受信が必要になります。

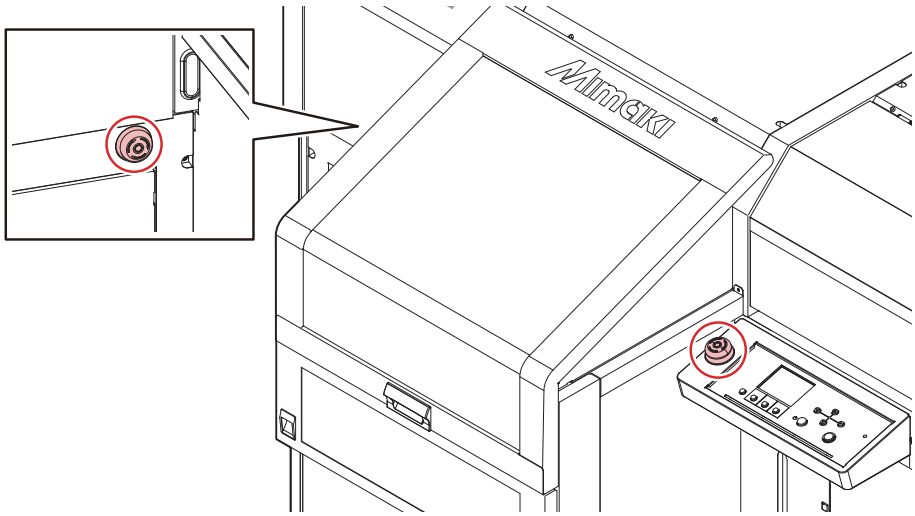
- インターロック設置場所



*1:動作中に正面カバー/スライドカバーを開くとキャリッジは停止しますが、インターロックではありません。(上図の青丸部分)

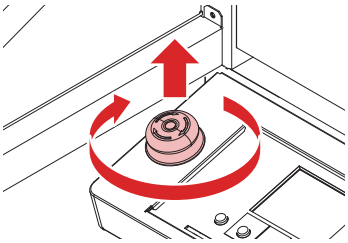
非常停止スイッチについて

非常停止スイッチは、2か所にあります。安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに使用してください。



重要！

- 非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。
  (1) コンセントを抜いてから、異常原因を取り除く。
  (2) 安全確認後、非常停止スイッチを解除する。

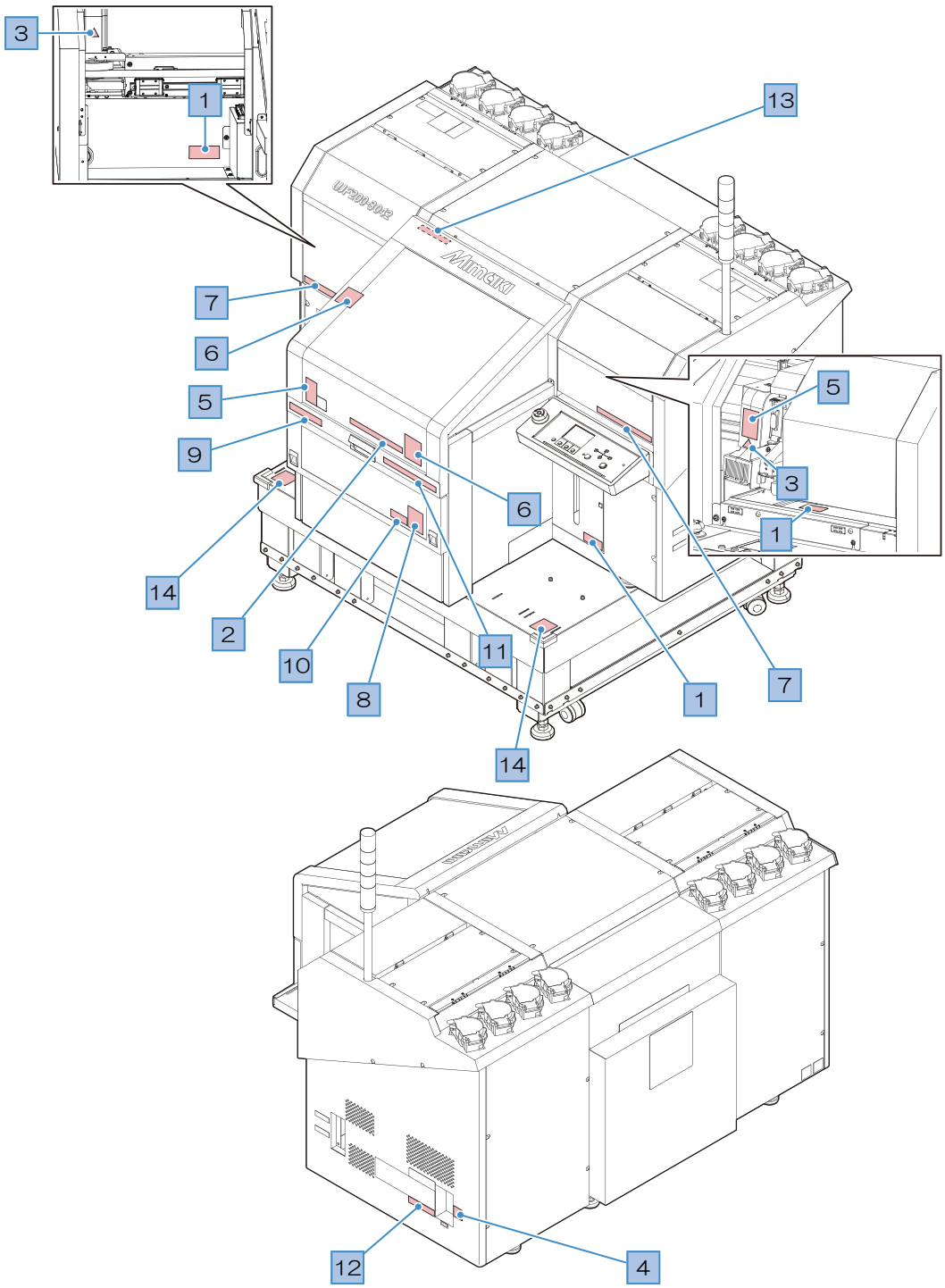


  (3) コンセントを接続する。

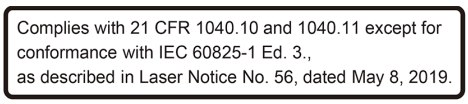
警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M903330		インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目の中に入ったりするおそれがあります。作業をするときは保護メガネや手袋を着用してください。
2	M905811		危険な可動部を示しています。キャリッジやが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
3	M906144		高温部を示しています。ヒーター通電中は、やけどのおそれがあるため触れないでください。
4	M907935		危険な電圧部を示しています。感電のおそれがあるため触れないでください。
5	M913419		紫外線に注意してください。紫外線に曝露されると、皮膚の損傷や眼の障害を引き起こすおそれがあります。照射中は、カバーを開けたり照射部を直視したりせず、手や顔を近づけないでください。
6	M913423		カバーが自重により急に閉まると、指を挟んで負傷するおそれがあります。カバーを開閉する際は、最後まで手を添えてゆっくり操作してください。
7	M913425		レーザー光に注意してください。レーザー光を直視すると、目に障害を引き起こすおそれがあります。レーザーを直接覗き込まないでください。
8	M913610		危険な可動部を示しています。テーブルが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがあります。指や体を近づけないでください。
9	M915076		本装置は、IEC 60825-1に基づき、通常使用条件においてクラス1レーザー製品として分類されています。通常使用時において、ユーザがアクセス可能な位置では、レーザー光は許容限度内に制限されています。

No.	注文番号	ラベル	内容
10	M921061		本機は紫外線を発生させています。（リスクグループ2）皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがありますので、UV光に当たらないように注意してください。
11	M920704		テーブルに20kgを超える荷重をかけると破損するおそれがあります。20kgを超えるものを載せないでください。
12	M920968		本表示は、本機が米国FDA規制に適合していることを示しています。
13	M921062		本装置の内部には、クラス2に分類されるレーザー光源が搭載されています。装置内部にアクセスする場合、レーザー光に注意してください。レーザー光を直視すると、目に障害を引き起こすおそれがあります。レーザーを直接覗き込まないでください。
14			足が接触しやすい突出部を示しています。突出部に足を接触すると打撲などの負傷をするおそれがあります。装置周辺を通行する際は十分注意してください。

UJF200-3042/6042安全上のご注意

2026年11月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203976-11-2511026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

AT

FW : 1.2